

厚生労働科学研究費補助金  
難治性疾患政策研究事業  
分担研究報告書

特発性傍中心窩毛細血管拡張症に関する研究

研究分担者 東京女子医科大学・眼科・教授・講座主任 飯田 知弘  
鹿児島大学・学術研究院医歯学域医学系・教授 坂本泰二

研究要旨：特発性傍中心窩毛細血管拡張症は著しい視力障害の原因となり、治療法が確立されていない疾患である。国際的にも診断基準がないため、我が国における診断基準を作成中である。

A. 研究目的

特発性傍中心窩毛細血管拡張症は著しい視力障害の原因となり、治療法が確立されていない疾患である。国際的にも診断基準、診療ガイドライン、手引き等はないため、我が国における診断基準を作成することを目的に研究を行った。

B. 方法

診断基準を作成するために、過去に特発性傍中心窩毛細血管拡張症に関して報告されている論文を調査して、それぞれの研究で診断を行った検査所見などを抽出した。

(倫理面への配慮)

診断基準の作成であるので、倫理的問題はない。

## C. 結果

特発性傍中心窩毛細血管拡張症は Type1（血管瘤型）と Type 2（傍中心窩型）に分類されているが、Type1 は光凝固術や抗 VEGF 薬など治療法があるので、難治性疾患に該当するのは Type2 となる。そこで、特発性傍中心窩毛細血管拡張症は Type2 を中心に診断基準、診療ガイドラインの作成を進めていく。

## D. 考案

診断基準を作成することにより、診療ガイドラインや手引き、さらには疫学研究や将来のデータベース化に有用になるとと思われる。

## E. 結論

診断基準の策定は特発性傍中心窩毛細血管拡張症患者の福祉の向上に寄与する。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

なし